

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は企業経営において、株主の他、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会の皆様等のマルチステークホルダーとの適切な協働により、事業を推進しております。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づき、自社の経営環境を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人財投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、65歳までの段階的な定年の延長、物価動向等を踏まえたベースアップの検討、会社業績に連動した賞与支給、自己研鑽費用の補助や従業員ニーズに応じた研修メニューの拡充、設備・管理・人を重視した実効性のある安全活動、「治療から予防へ」を合言葉とした健康経営の推進等の施策を通じて、従業員への還元を行い、J-POWER“BLUE MISSION 2050”の実現に向け、人財基盤の強化に取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日  
【2022年3月7日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL  
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/7945-06-00-tokyo.pdf>】

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、「J-POWER グループ社会貢献活動の考え方」に基づき、良き企業市民として文化・芸術活動の支援、地域社会への協力、ボランティア活動への参加支援、国際社会への貢献などの社会貢献活動に積極的に参加し、社会の発展に寄与しています。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月18日

電源開発株式会社

法人名

代表取締役社長 社長執行役員 渡部 肇史

役職・氏名（代表権を有する者）